

森六ホールディングス株式会社

決算説明会資料

森六 中期経営計画 M I 4 0 0
(2019～2021年度)

1. 森六グループ理念体系と長期展望

P. 2～ 3

2. 森六 中期経営計画 M I 4 0 0 （2019～2021年度） 要旨

P. 4 ～9

3. 森六 中期経営計画 M I 4 0 0 （2019～2021年度） 計画ポイント

P. 10～17

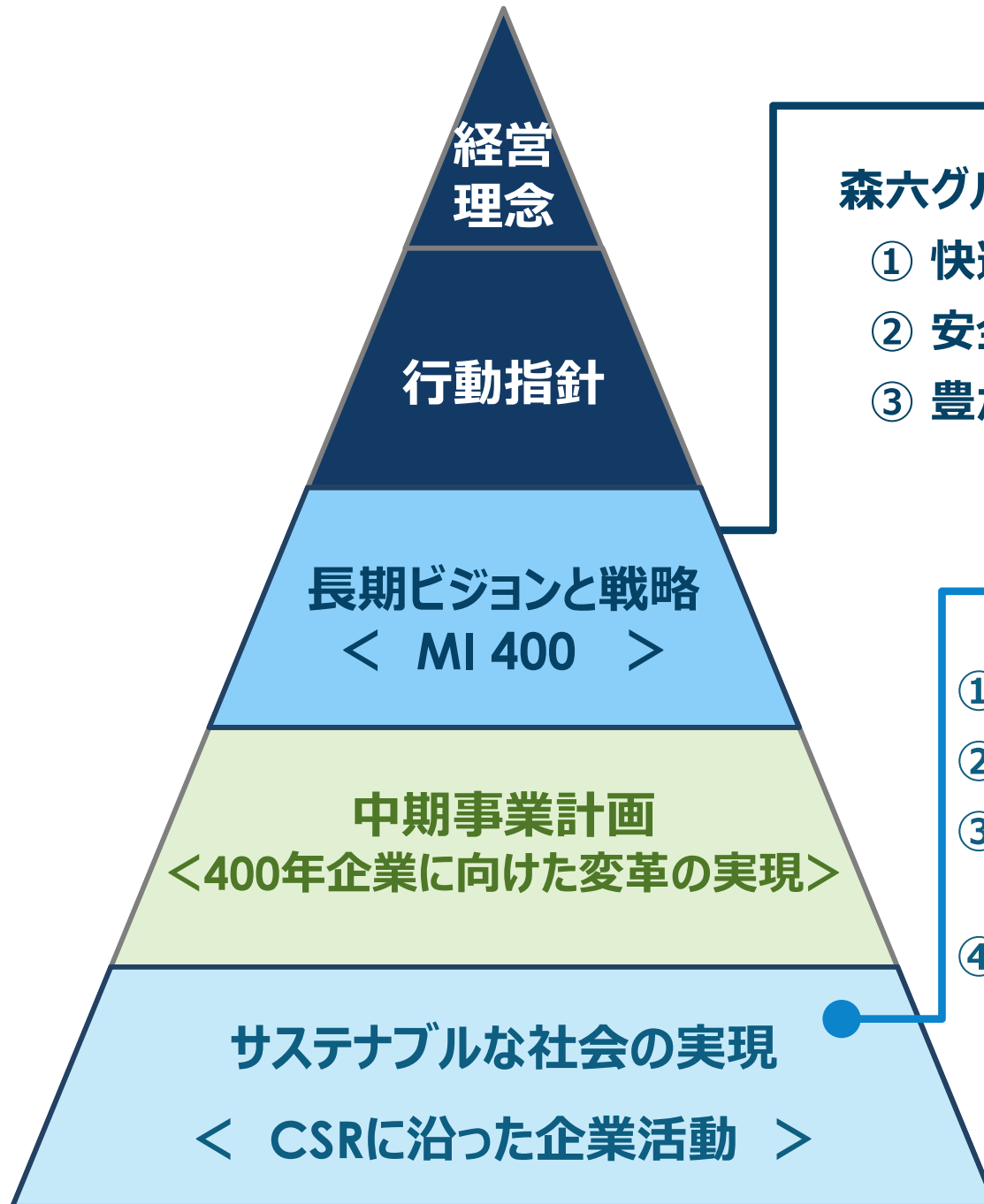
MI 400

森六グループが目指す“未来社会への貢献”

- ① 快適・クリーンな社会への貢献
- ② 安全な移動ができる社会への貢献
- ③ 豊かな暮らし・健やかな生活への貢献

CSR

- ① 従業員が生き生き、安全に働ける環境づくり
- ② 株主・投資家の皆様と建設的な対話の実施
- ③ 地球環境の保護、豊かな暮らしづくりへの貢献（社会価値）
- ④ お客様のニーズにあった製品・サービスの提供（顧客価値）



経営
理念

森六グループは、未来を先取りする創造力と優れた技術で
高い価値を共創し、時を越えて、グローバル社会に貢献します。

長期経営ビジョン

MI 400

Moriroku Innovation 400

独自技術で社会に貢献するグローバル企業集団へ

中長期計画

MI 400 1st Stage
400年企業に向けた変革の実現

**MI 400
2nd Stage**

2017年12月
東証一部上場

12次

2019～2021年度

13次

14次

15次

10次

11次

2013～2021年

2022～2030年

400年
企業

創業

1663
年

2063
年

森六 中期経営計画 M I 4 0 0

(2019～2021年度)

要 旨

スローガン

MOVING FORWARD WITH MI 400

2021

“環境変化を先取りし、新事業創造と変革に挑み続けることでグローバル市場で勝ち抜ける経営基盤を構築する“

3つの基本戦略

【Ⅰ】 経営基盤強化 : 上場企業としての企業価値の向上 (2017年12月東証一部上場)

- グローバル経営基盤の強化を図ることで変革の加速を実現する
- 地球環境の変化への対応、豊かな暮らしづくりへの社会貢献の実行
- 新成長事業育成への資源配分、ポートフォリオの最適化

【Ⅱ】 付加価値創造 : モビリティ革新への新技術の事業化

- 次世代モビリティへの技術・商品開発の挑戦
(グループ横断での取組・パートナー企業との連携)

【Ⅲ】 事業構造変革 : 新スマート社会での新たな事業基盤の実現

- 環境変化を先取りした新たな生産技術の確立
- グローカライズビジネスの拡大

目標とする指標

K G I (Key Goal Indicator)

業績目標（2022年3月期） * 為替前提要件 1 U S \$ = 110円	売上高	2,000億円 以上
	営業利益率	5.0% 以上
	R O E	9.0% 以上
安定した株主還元	株主総還元性向	30% 以上
戦略事業投資 (中期3カ年)	投資金額	3 5 0 億円 * 内、戦略事業に100億円

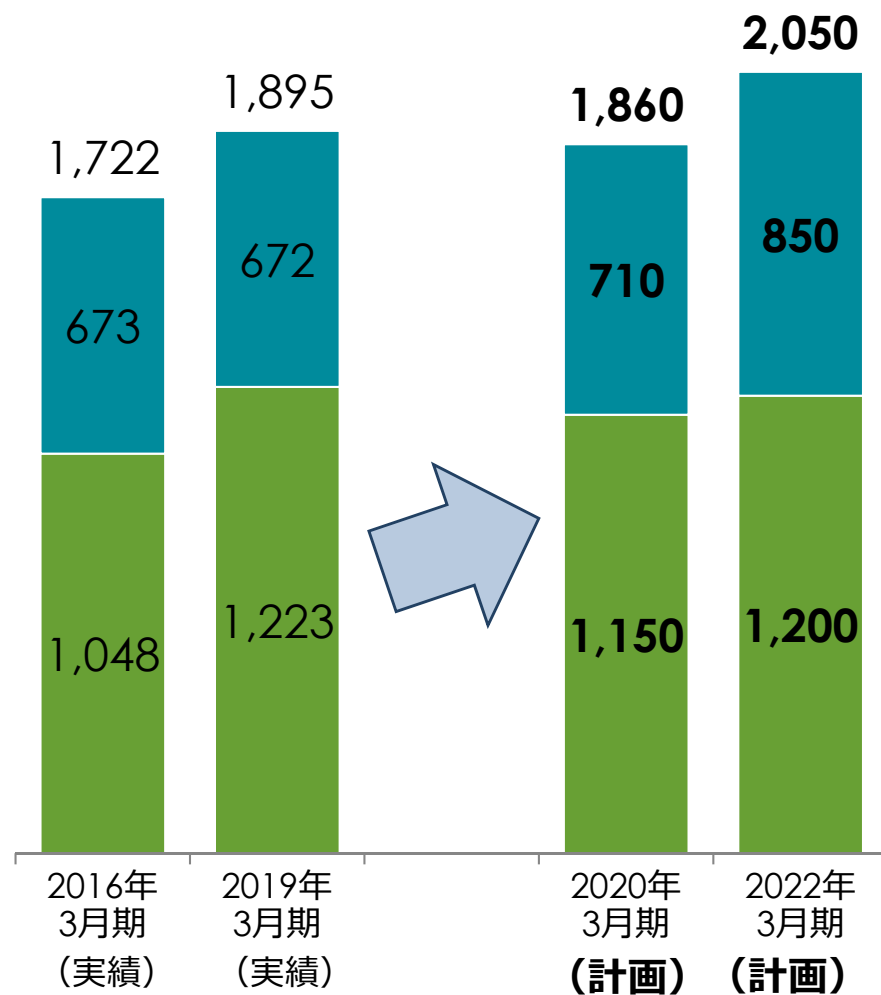
KGI達成のための因数指標

K P I (Key Performance Indicator)

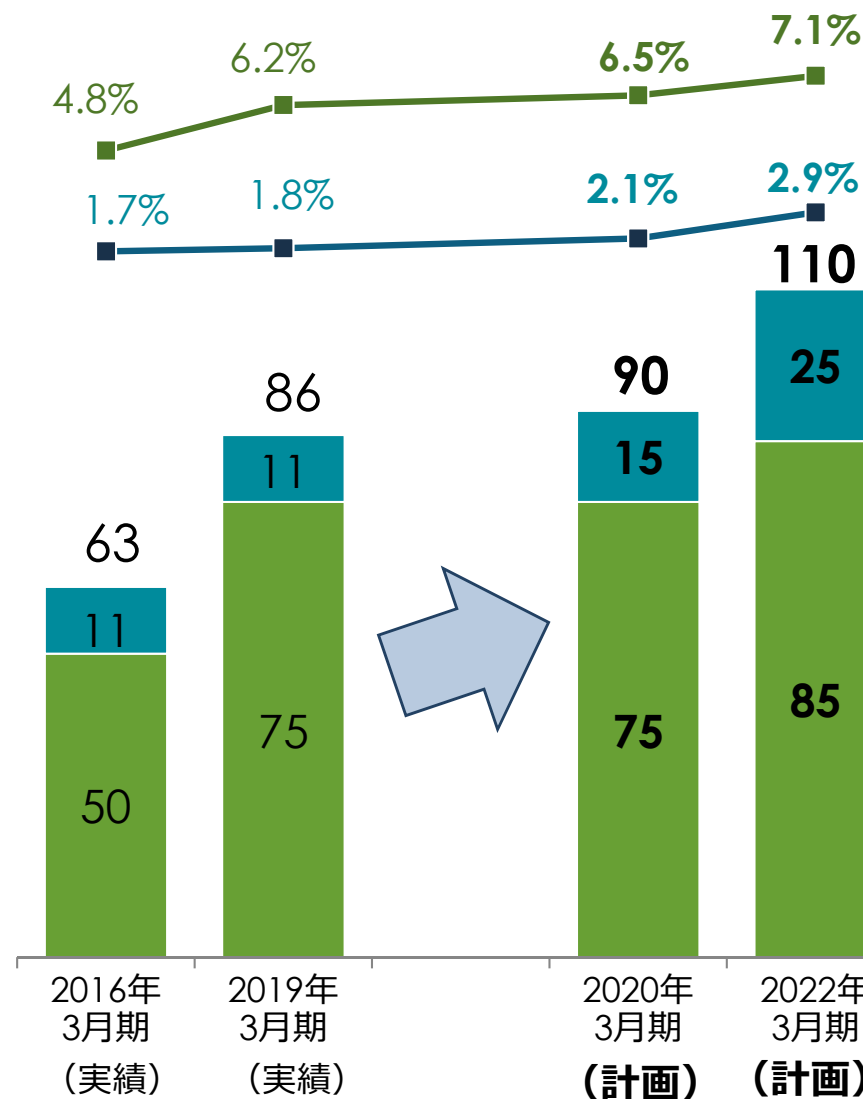
K P I (指標)		2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (計画)	2022年3月期 (計画)
樹脂加工 製品事業	売上高	1,223億円	1,150億円	1,200億円
	営業利益 (営業利益率)	75億円 (6.2%)	75億円 (6.5%)	85億円 (7.1%)
ケミカル 事業	売上高	672億円	710億円	850億円
	営業利益 (営業利益率)	11億円 (1.8%)	15億円 (2.1%)	25億円 (2.9%)

売上高（億円）

- : ケミカル
- : 樹脂加工製品

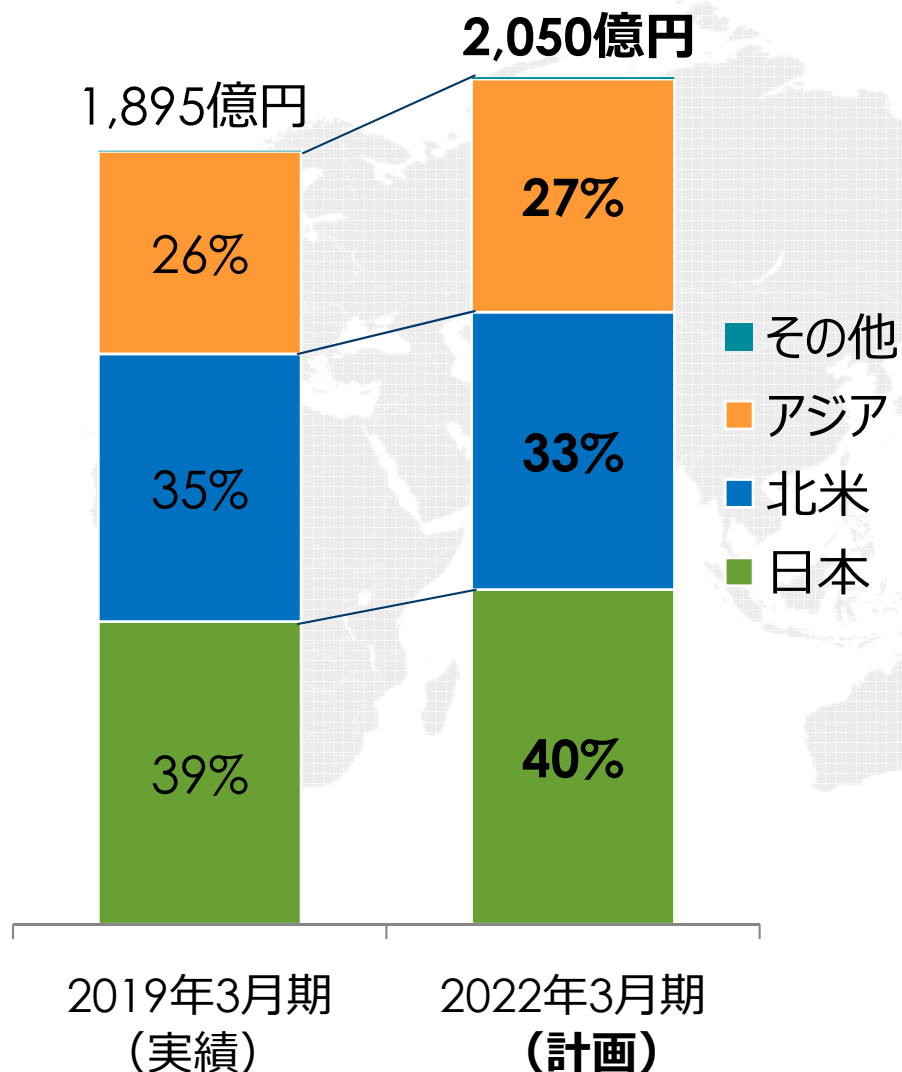


営業利益（億円）・営業利益率（%）



所在地別 売上高

グループ全体： アジア・中国地域が牽引



主な売上増加要因

樹脂加工部品事業

- タイ：R&D体制増強で地域機種受注拡大
- 北米：米国は生産モデルの変化による微減
メキシコは新機種部品立上げ増産

ケミカル事業

- 中国：内陸部地域での事業拡大
- アセアン：インドネシア新拠点営業活動強化
生活産業での事業拡大（フィルム）
- 日本：モノづくり事業拡大
（樹脂コンパウンド、化学品合成受託）

投資

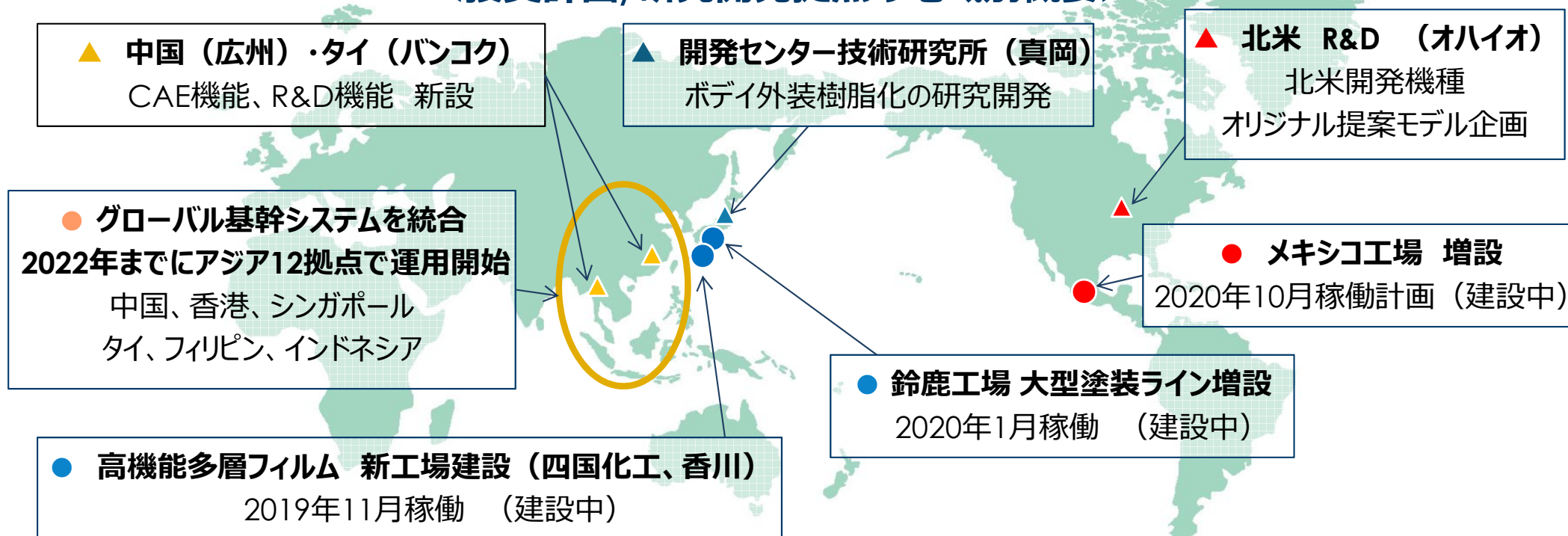
戦略事業投資100億円（中期3カ年）

	17年3月期～ 19年3月期（実績）	20年3月期～ 22年3月期（計画）
設備投資	310億円	350億円
研究開発費	75億円	87億円
合計	386億円	437億円
減価償却費	231億円	270億円

● 戦略投資 / ▲ 研究開発

- 新たな顧客への拡販
- 多層フィルム新技術の導入に伴うライン新設
- 生産の効率化（生産自動化・物流効率アップ）
- 決算早期化と、一元管理によるガバナンス強化
- ▲ 『日本、北米、中国、タイ』の研究開発強化

<投資計画/研究開発拠点の地域別概要>



森六 中期経営計画 MI400 (2019～2021年度)

計 画 の ポ イ ン ト

戦 略

グローバル経営基盤の強化を図ることで変革の加速を実現

3つの重点項目

① グループ人材が成長、活躍できる働く環境づくり

- ・ グループ人事ポリシーに基づく新人事制度の導入 (2019年度運用開始)
- ・ 多様な人材がキャリアを積めるダイバーシティ推進

② グループ全体最適なガバナンス機能の構築

- ・ 内部統制、事業継続マネジメントの強化
- ・ グループコンプライアンス体制の拡充と着実な運用

③ E S G 経営の取組

- ・ C S R 推進機能のレベルを高め、事業を通じてグローバル社会の課題解決に貢献する

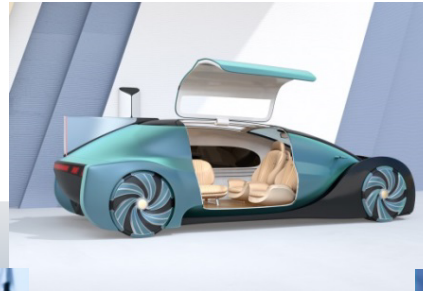
戦 略

地球環境の変化への対応、豊かな暮らしづくりへの社会貢献

樹脂加工製品事業とケミカル事業を通じて5つの分野に経営資源を投入



情報・通信・電子材料



モビリティ



生活・環境



ファインケミカル



メディカル・ヘルスケア

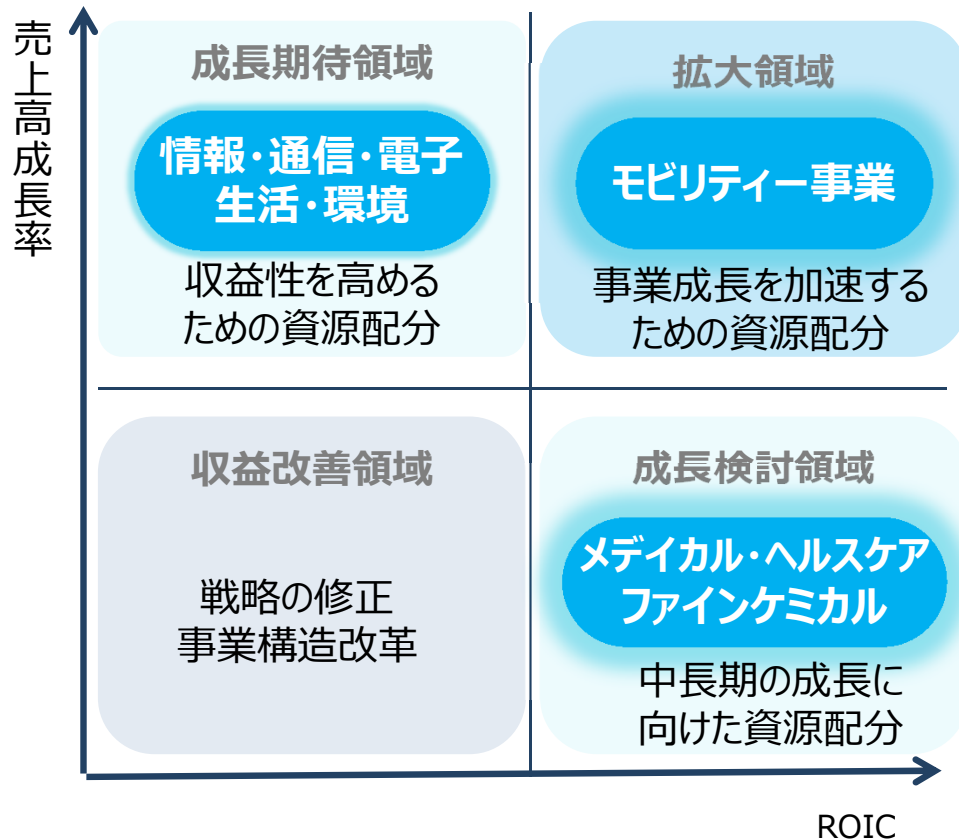
森六グループが目指す“未来社会への貢献”

- ① 快適・クリーンな社会への貢献
- ② 安全な移動ができる社会への貢献
- ③ 豊かな暮らし・健やかな生活への貢献

戦略

事業ポートフォリオマネジメントで新たな事業基盤の実現

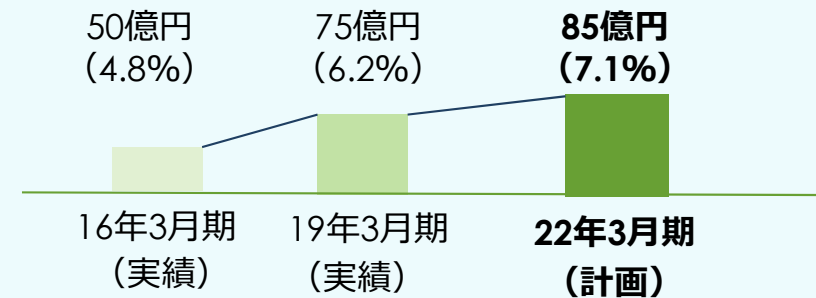
経済価値評価



区分に応じた事業の選択と集中

【モビリティ事業 戦略】

樹脂加工製品 営業利益（率）実績と計画



《 高効率生産の実現による利益率アップ 》

- 自動化（ロボット・AGV導入）をグローバルで実施
- 工場拡張・自動倉庫化による効率アップ（タイ・広州）

《 独自技術製品開発からの取引拡大 》

- 独自の「素材と成形技術」からの軽量化からの利益向上
- 新たな顧客への生産体制の強化（VW）

【メディカル・ヘルスケア事業 戦略】

- 高機能多層フィルム新工場建設（四国化工）
- ⇒ 新技術の高強度フィルムで新たなニーズ展開と利益率アップ

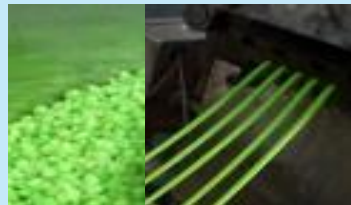
戦 略

次世代モビリティへ革新技術・商品開発をグループ横断で追求

『独自の加工技術、材料技術、ケミカル技術』で
全世界のお客様へ期待を越える価値を提供

MORIROKU GROUP
MI 400 (2019~2030年)

ケミカル事業
Compound製造
＜機能性樹脂素材開発＞



樹脂加工製品事業
Molding製造
＜軽量化部品開発＞



自動車部品に
係わる事業

自動車製品素材に
係わる事業

安全なモビリティへのソリューション提供

高剛性で軽量なプラスチック部品開発

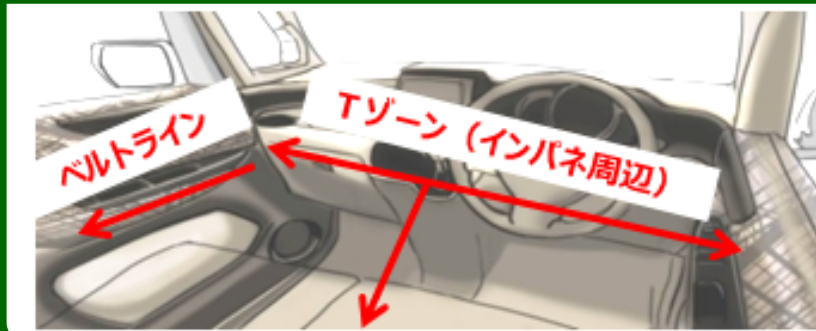
未来社会への貢献

戦 略

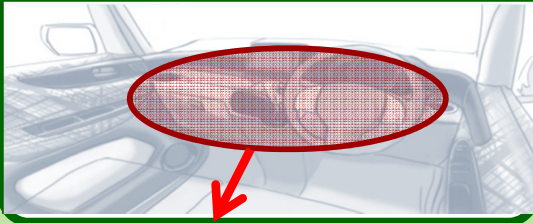
次世代モビリティへ革新技术・商品開発をグループ横断で追求

ボディ全体の 樹脂化（軽量化） への挑戦

Tゾーンからベルトラインへ



自動車（内装）Tゾーン



✓インパネと側面・
後方までを展開提案

新商品開発をさらに強化

- ✓ 新商品等の開発強化・
軽量化への取り組みの加速
- ✓ 量産化技術を確立

ボディ全体へ



2023～2026モデル実用化へ

自動車部品のさらなる
軽量化に向けた展開

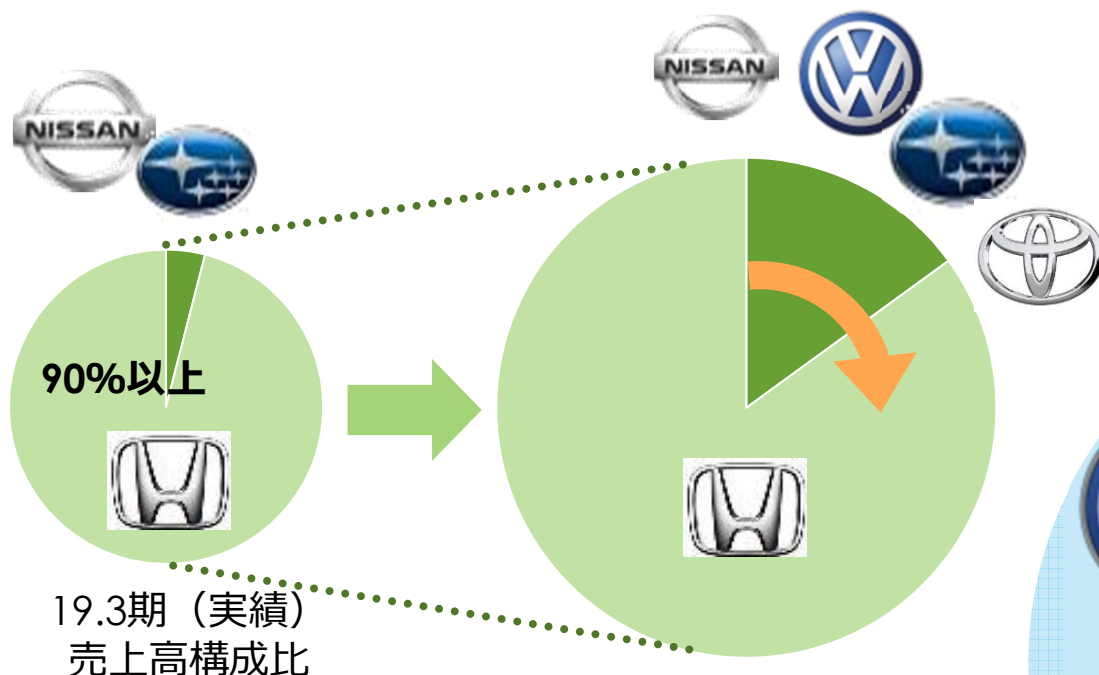
- ✓ ボディの樹脂化
- ✓ CFRP（炭素繊維強化プラスチック）の採用

自動運転化に対応した
内装リビング化への部品革命

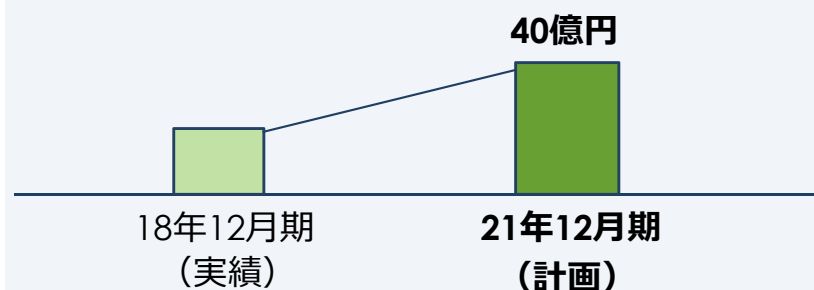
戦略

環境変化を先取りした新たな生産技術の確立

他の自動車メーカーへの拡販 ～ 四輪車部品業界でのシェアアップ ～



メキシコ事業 売上



VWビジネス（新機種）の拡大

メキシコ工場量産開始
(2020年)



戦略

グローカライズビジネスの拡大

更なる成長が期待される『中国・アジア』での 新たな経営資源投入

中国・アジア地域 売上実績・計画



中国 (樹脂) 18年 武漢第2工場 稼働開始

中国 (ケミカル) 成都で自動車部品・材料拡販

インド (樹脂) 18年 第2工場 稼働開始

インド (ケミカル) ファイン・電材ケミカル拡販

ベトナム (ケミカル) 加工食品・樹脂材の拡販

フィリピン (樹脂) 特産技術での新部品開発

タイ (樹脂) 自動化強化
塗装ロボット投入

タイ (ケミカル) 包装材・フィルム事業拡大

MI 400

Moriroku Innovation 400

独自技術で社会に貢献するグローバル企業集団へ

【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。